

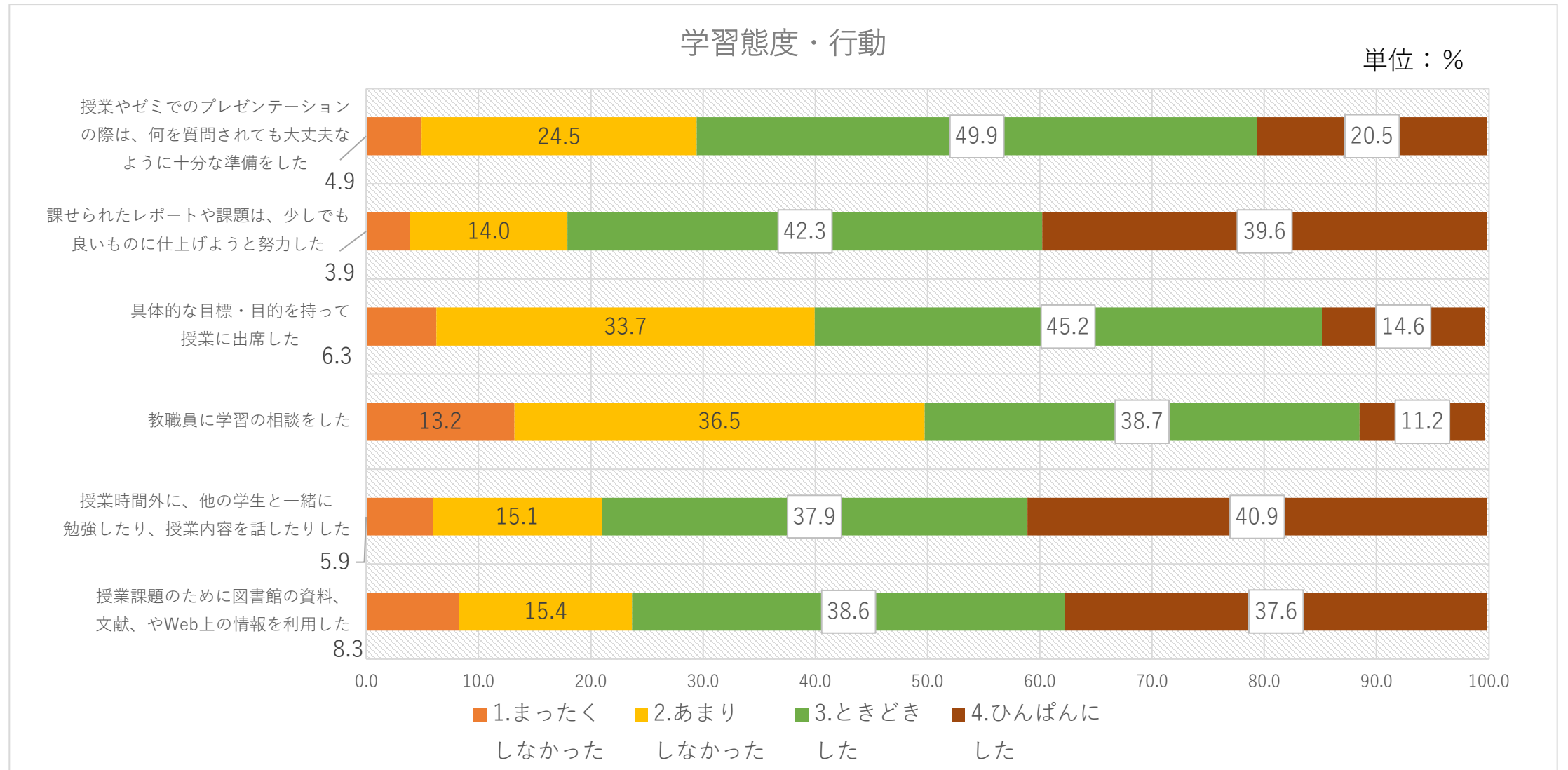
【保健学部】 2022年度卒業時アンケート結果

アンケート実施日：2023年3月19日（日）卒業式

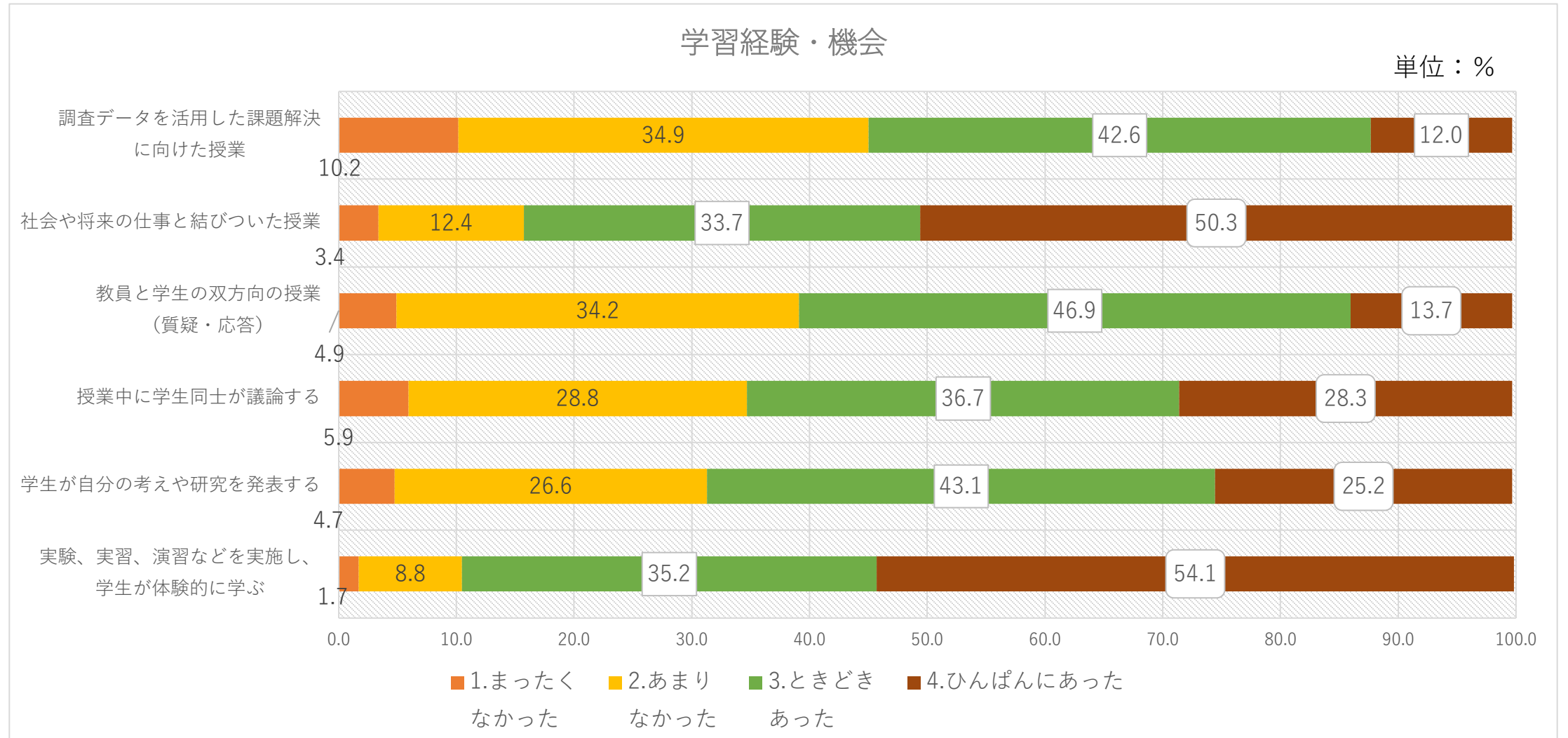
（回答数）

学科別回答数	n
保健学部・臨床検査技術学科	115
保健学部・健康福祉学科	43
保健学部・看護学科看護学専攻	78
保健学部・看護学科看護養護教育学専攻	49
保健学部・臨床工学科	45
保健学部・救急救命学科	40
保健学部・理学療法学科	50
保健学部・作業療法学科	43
保健学部・診療放射線技術学科	58
保健学部・臨床心理学科	69
合計	590

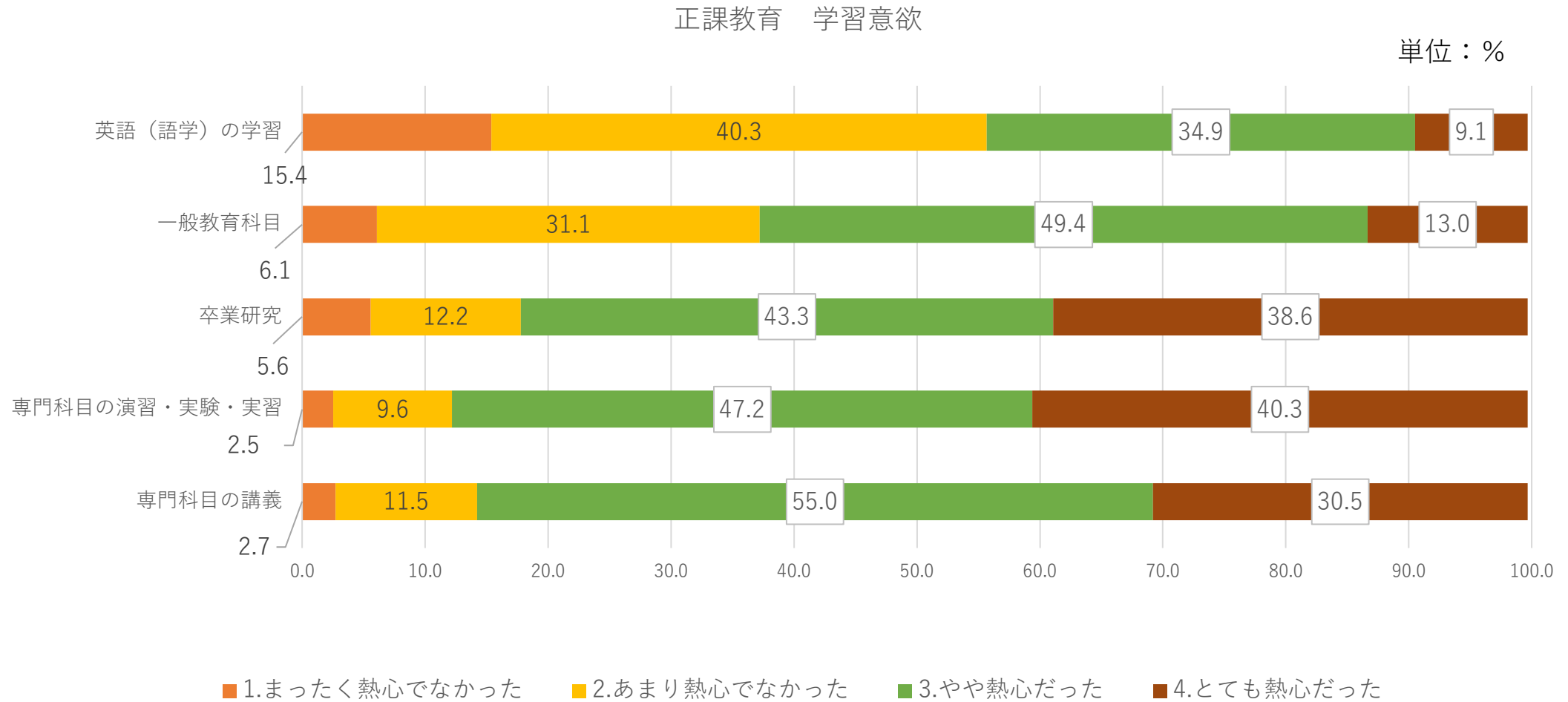
Q.あなたは大学の授業などの学習に関して、次のようなことをどのくらい経験しましたか【学習態度・行動】



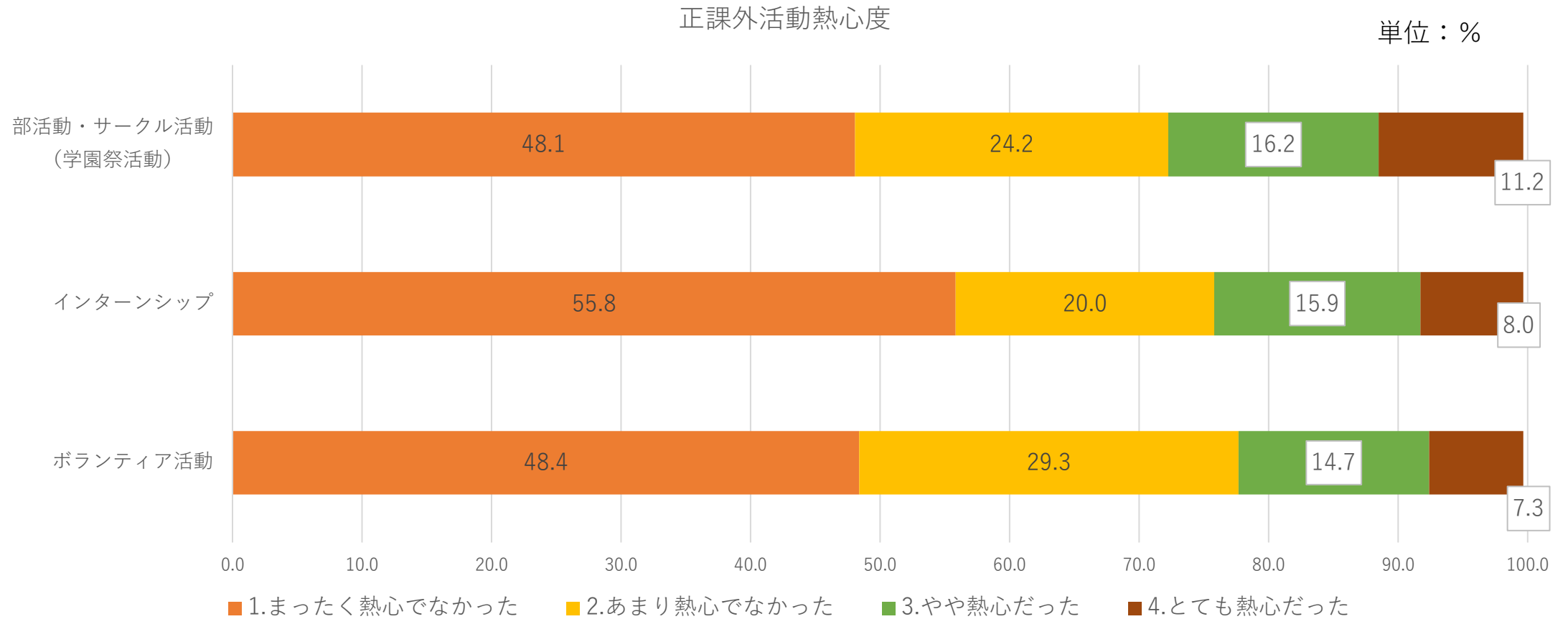
Q. あなたは大学の授業に関して、次のようなことをどのくらい経験・機会がありましたか【学習経験・機会】



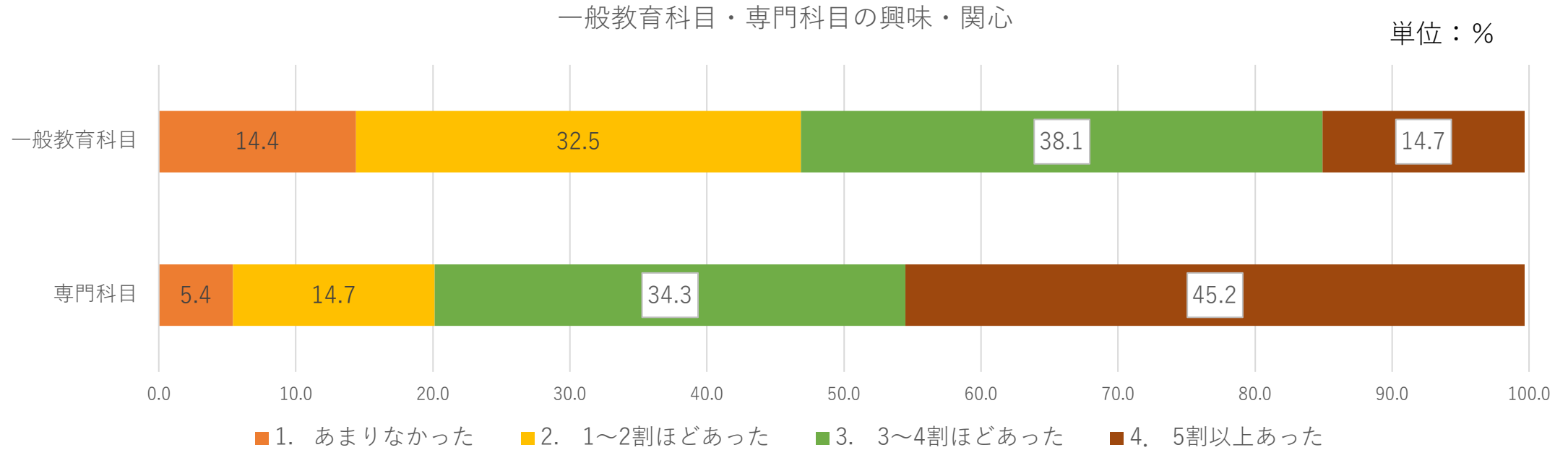
Q. あなたは在学中に、次の活動にどの程度熱心に取り組みましたか【学習意欲】



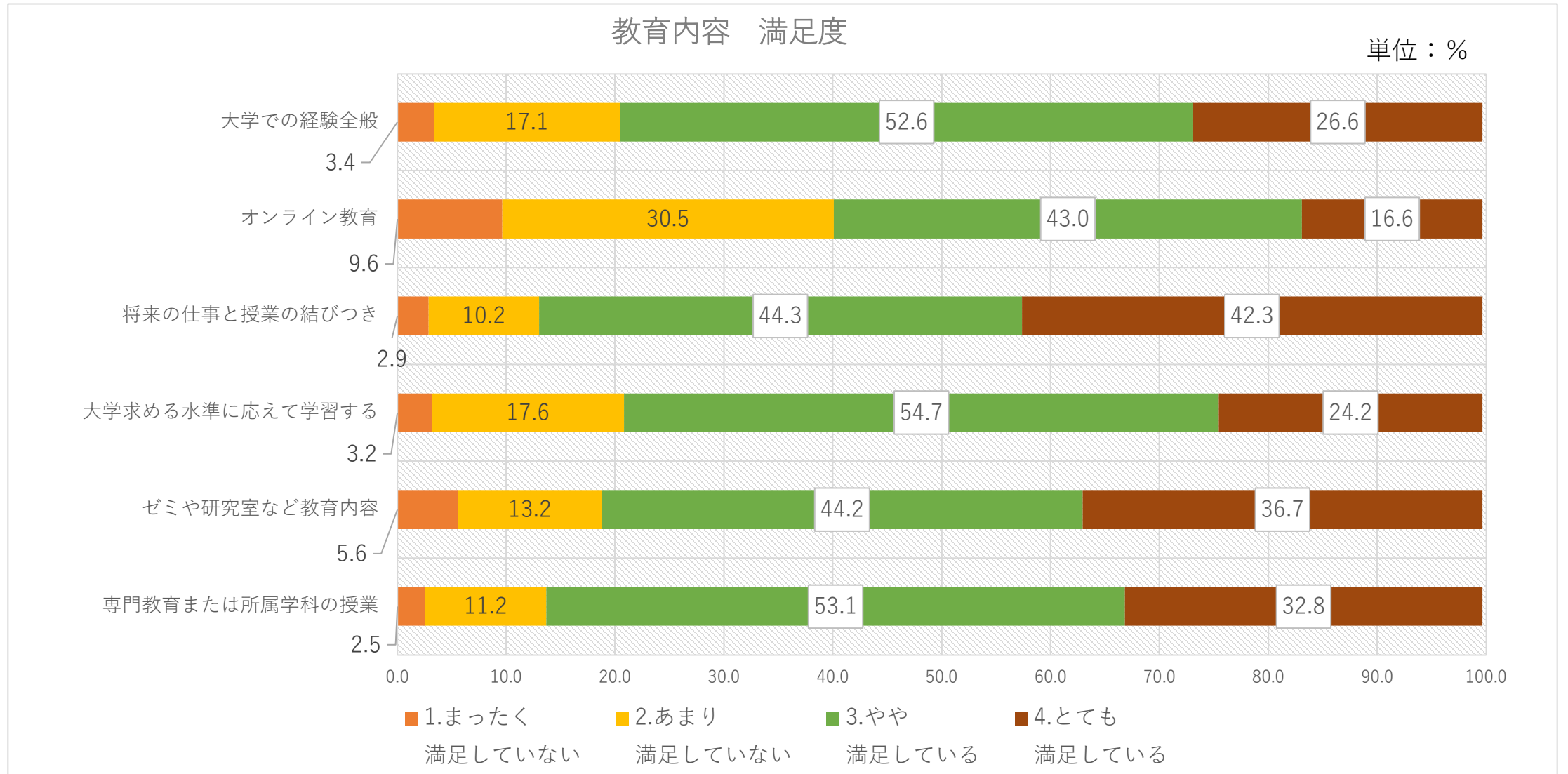
Q. あなたは在学中に、次の活動にどの程度熱心に取り組みましたか【正課外活動熱心度】



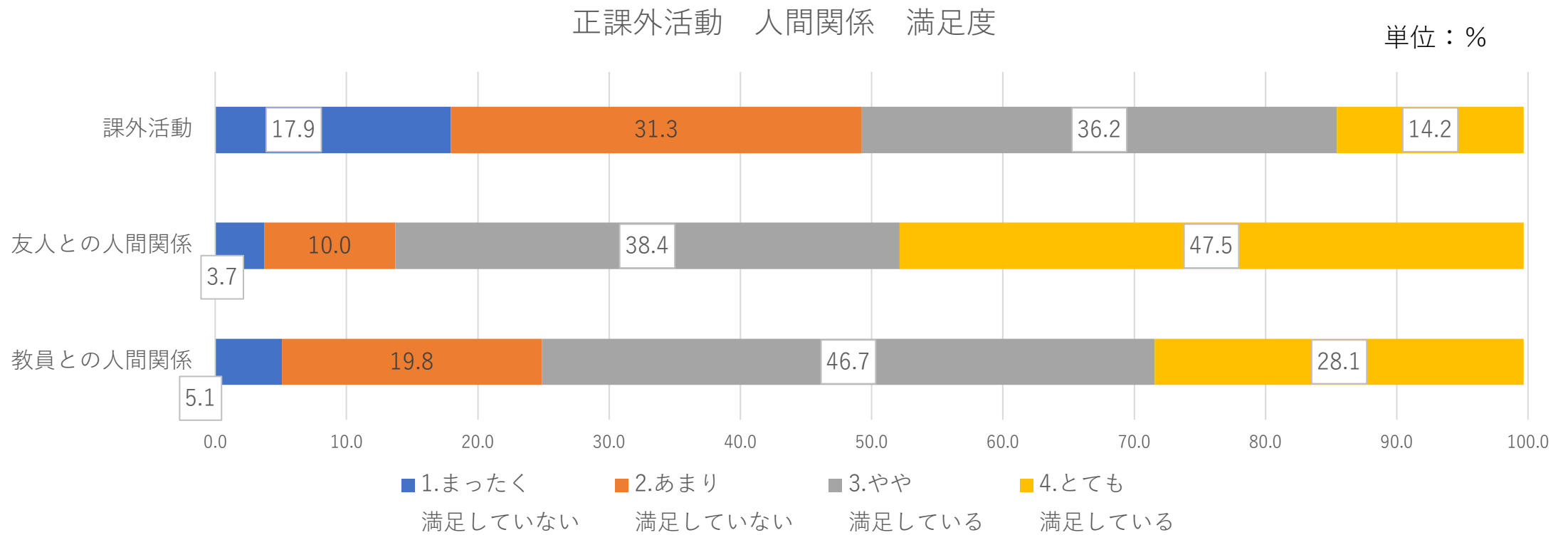
Q. あなたは在学中に、興味を抱くような楽しい科目がどの程度ありましたか【科目の興味関心】



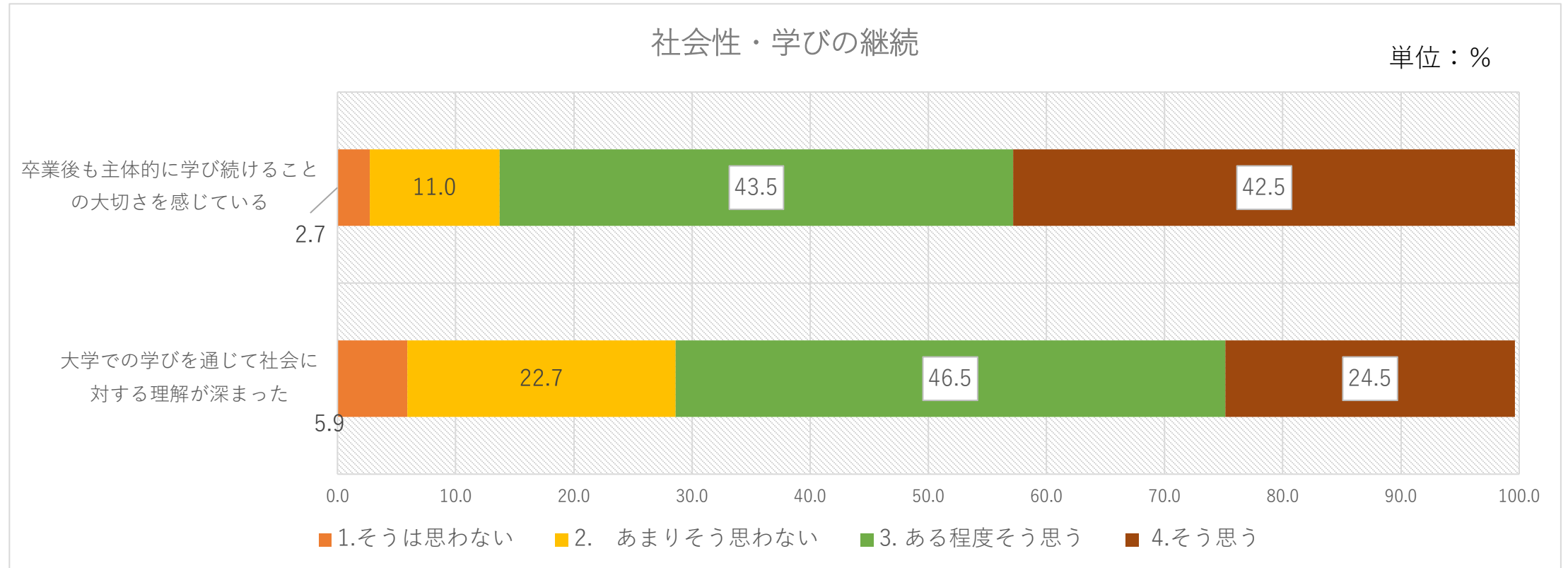
Q. あなたは大学での教育内容や学生生活にどの程度満足していますか【満足度】



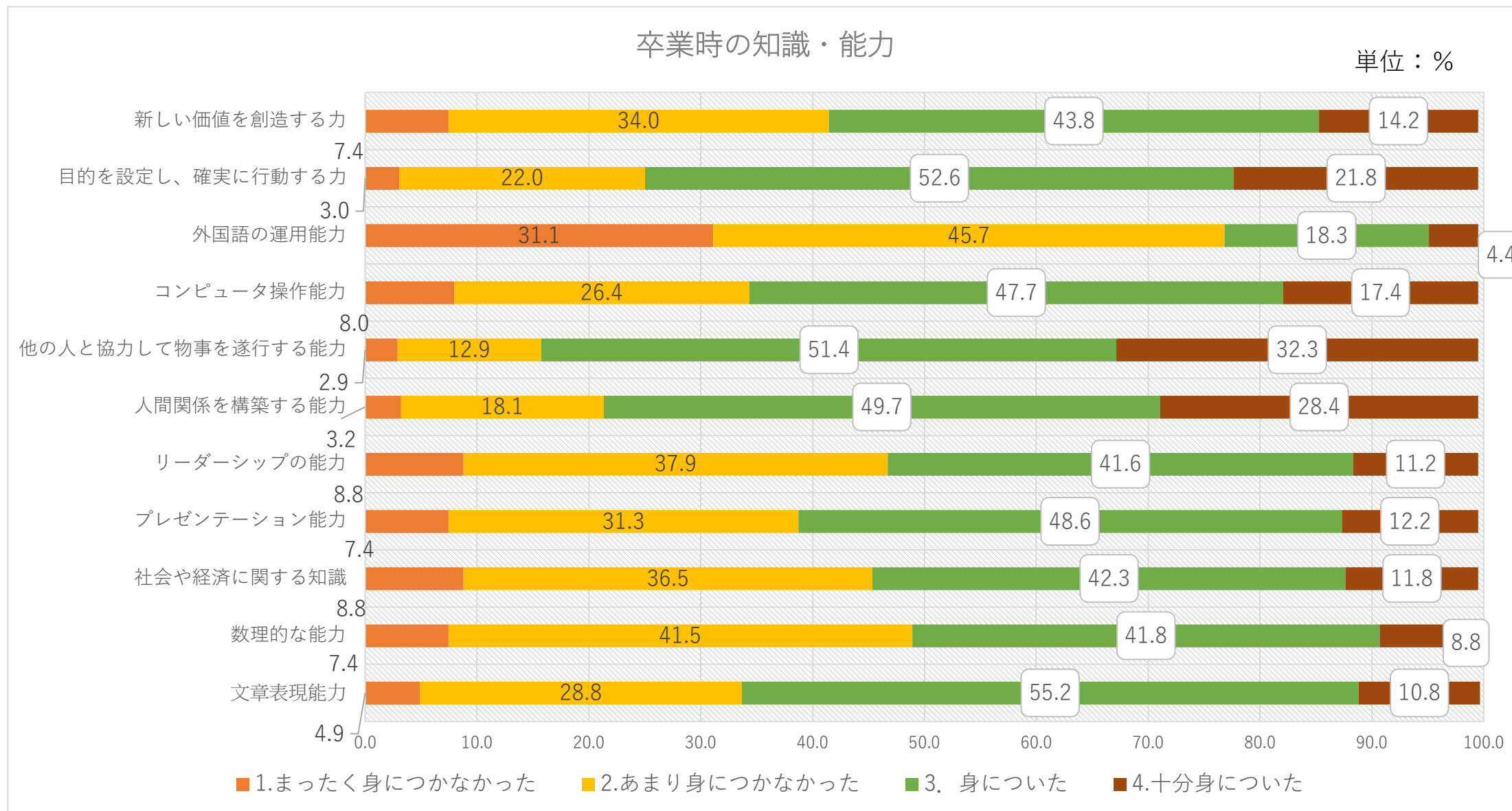
Q. あなたは大学での教育内容や学生生活にどの程度満足していますか【満足度】



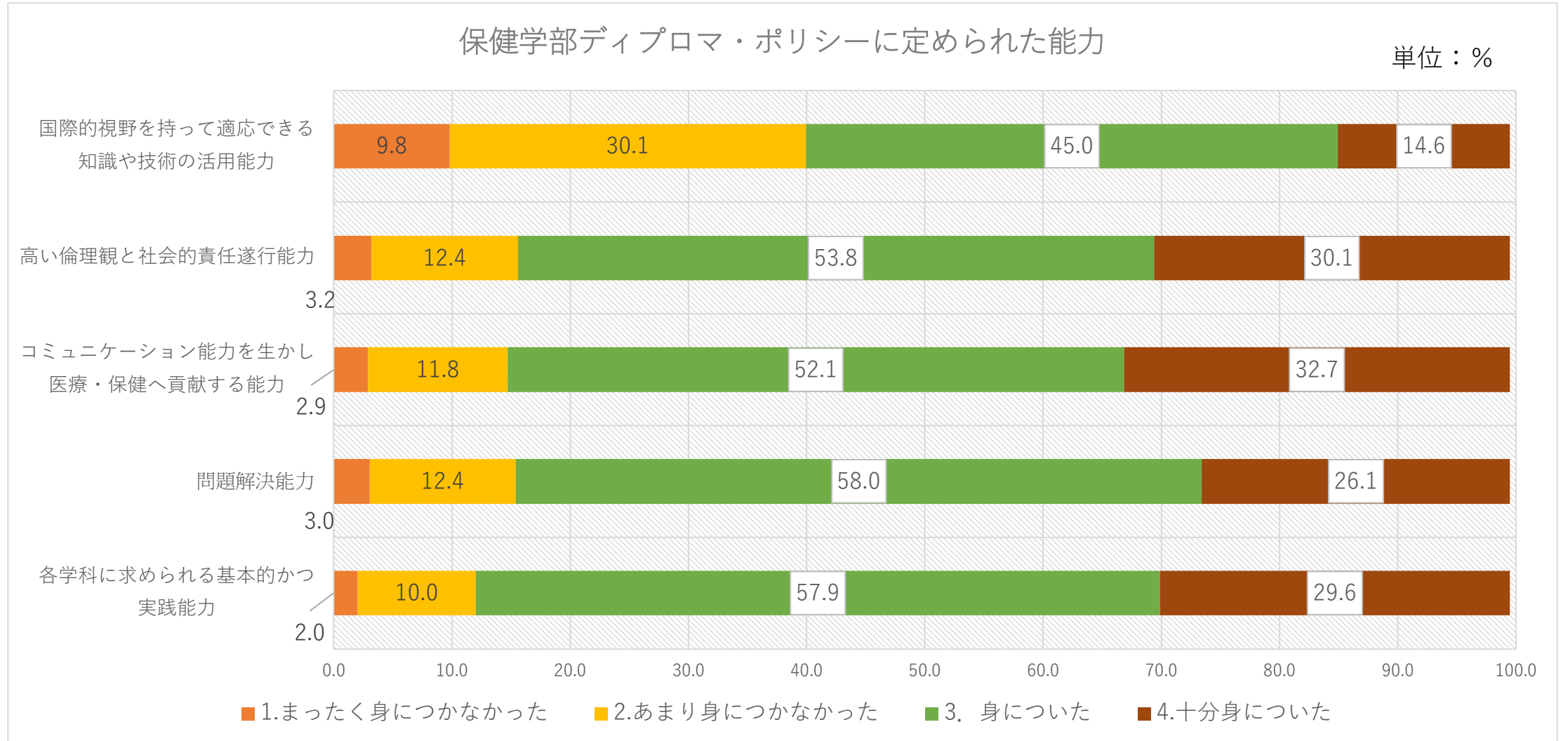
Q. これまでの大学での学びを振り返って、次の項目についてどのように思いますか。【社会性・学びの意欲】



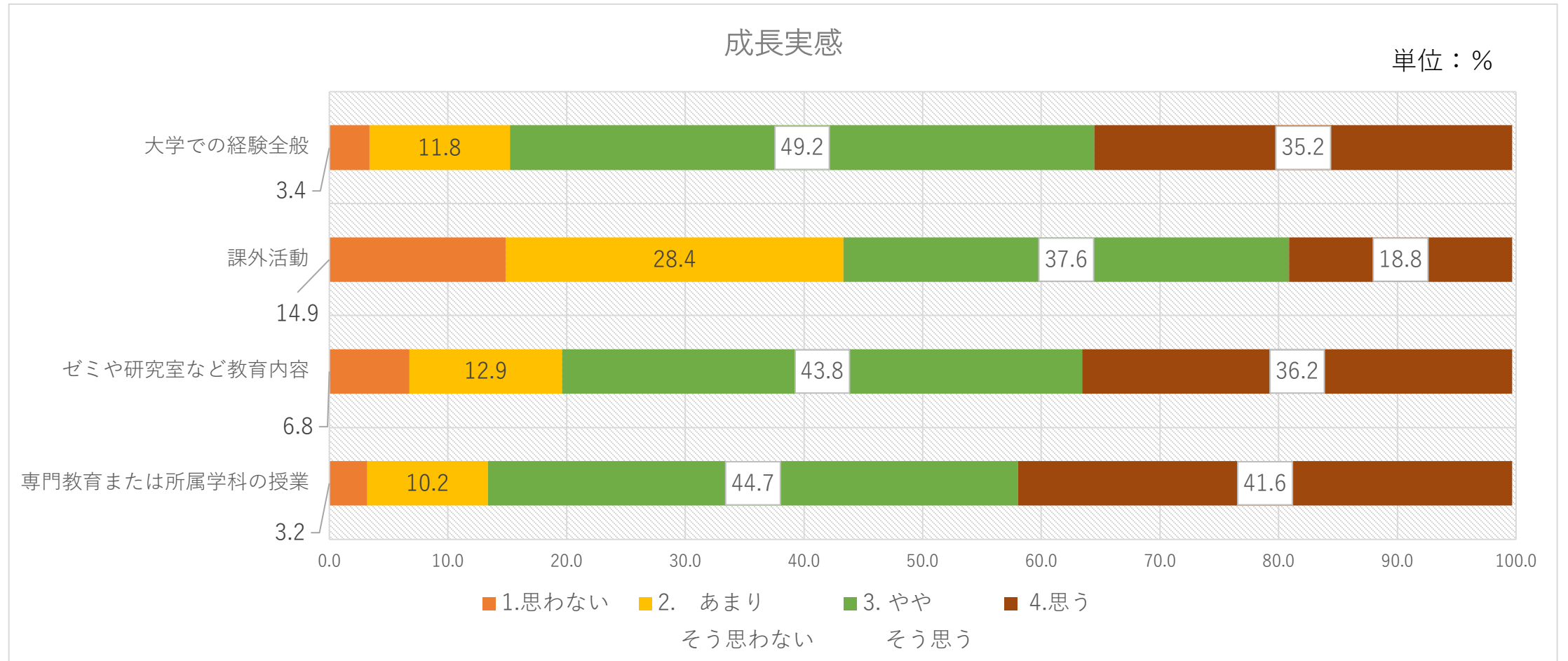
Q. あなたは在学中、次のような知識・能力をどの程度身に付けたと思いますか【学習成果】



Q. 保健学部 ディプロマ・ポリシーに定められた能力【学習成果】



Q. あなたは、入学から卒業までの大学での経験を通して、人間的に成長を実感していますか【成長実感】



総評：保健学部

保健学部卒業生に対し「在学中の学習態度と学習経験、学習意欲」、「大学での教育内容への満足度」、そして「学部ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果が身についたか否か」のアンケートを行った。

その結果、在学中の学習態度と学習経験については「課されたレポートや課題は、少しでも良いものに仕上げようと努力した」と答えた学生は回答者全体の81.9%存在し、「授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり授業内容を話した」、「授業課題のために図書館の資料、文献やWeb上の情報を使用した」と回答する者が76.2%以上存在した。これらより卒業生は、在学中、主体的に学習に取り組んだことが示された。また大学での授業が「社会や将来の仕事と結びついた授業」であったこと、特に「専門科目」に興味を持っていたことも示された。一方、「在学中の正課外活動熱心度」は低い結果であったが、これば新型コロナウイルス感染症の流行により課外活動の制限があったためと考えられた。

「大学教育内容への満足度」については、「将来の仕事と授業の結びつき」、「専門教育または所属学科の授業」に満足と回答した卒業生が全体の85.9%以上存在した。また、「教員との人間関係」に満足した学生は74.8%存在したことから教育内容への満足度は高かった。さらに「卒業後も主体的に学び続けることの大切さを感じた」と答える学生が86%存在し、学部教育の成果は高いと推察された。

次に「学部ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果が身についたか否か」のアンケート結果からは、「高い倫理観と社会的責任遂行能力」、「コミュニケーション能力を生かし医療・保健へ貢献する能力」、「問題解決能力」そして「各学科に求められる基本的かつ実践能力」については、各項目とも83.9%以上の学生が身に付いたと回答した。一方、「国際的視野を持って適応できる知識や技術の活用能力は59.6%の学生のみが身に付いたと回答した。この結果は、新型コロナウイルス感染症の流行により海外研修が制限されたことが影響していると考えられた。

これらのアンケート結果より、現在の学部教育は、将来、保健医療分野の職業において十分な実力を発揮できる人材を養成していると考えられた。